



図書館サポーターズだより

明日に吹く風



秋といえば何が思い浮かぶでしょうか？食欲の秋、スポーツの秋…色々ありますよね。その中でも「読書の秋」は秋が読書に最適な気候なため、そう呼ばれるようになったそうです。ぜひこの季節を利用してゆったり物語に浸ってみるのはいかがでしょうか。

～図書館サポーター推薦図書～

『ハリネズミの願い』

トーン・テレヘン 著 (949.33 || Te32)

「親愛なるどうぶつたちへ。きみたちみんなを招待します。…でも、だれも来なくてもだいじょうぶです。」自分のハリが大嫌いで、ほかの動物たちとうまく付き合えないハリネズミ。突然みんなを自宅に招待しようと思い立ち招待状を書き始めるが、もしクマが来たら？カエルが来たら…？せっかく書いた招待状を出せないまま、ハリネズミの不安は広がっていく——。読んでみると、実際にハリネズミの気持ちがわかるという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。「誰かに遊びに来てほしい」「けどやっぱり誰にも遊びに来てほしくない」「断られたらどうしよう」そんなジレンマに陥っている、あと一步を踏み出せないそういう方に読んでいただきたい作品です。

(N・Y)



『マスカレード・ホテル』

東野 圭吾 著
(913.6 || H55)



都内で起きた3件の連続殺人事件。すべての事件現場に残された暗号から、4件目の犯行現場をエリート刑事・新田浩介は突き止める。警察は、現場のホテルへの潜入捜査を開始し、新田はフロントクラークとして捜査を開始。彼の教育係は、コルテシア東京の優秀なフロントクラーク・山岸尚美。それぞれの目的の違いから衝突するが、共にプロとしての価値観を理解し、信頼関係が芽生えていく。そんな中、事件は急展開を迎える。果たして、真犯人の正体とは。東野圭吾さん原作の人気小説で来年1月には、木村拓哉さん、長澤まさみさん出演で映画化されます。殺人事件とホテルを上手く組み合わせたサスペンスになっていますので、ぜひ読んでみてください。

(K・N)

『Tugumi』

吉本 ばなな 著
(913.6 || Y91)



「確かにつぐみは、いやな女の子だった。」病弱で意地悪で生意気。そんな美少女つぐみと共に少女時代を過ごした海辺の町に、つぐみの従姉妹でこの物語の主人公・まりあは最後の帰省を果たした。そこでまりあ達はとある青年に出会い、つぐみは彼と恋に落ちて——。まるで夏の青空のような透き通った文章で綴られる物語は、不思議な魅力に溢れています。「顔を見てると手に持っているソフトクリームとかをぐりぐりってなすりつけてやりたくなくらい、好きなんだ」そう話すつぐみの姿が目を開じると浮かんでくるようで、胸がいっぱいになりました。皆さんも是非このひと夏の輝きを感じてみてください。読了後には貴方もきっと、きらきらと眩しいつぐみとまりあに会いに行きたくなるはずです。

(A・T)

*図書はメインカウンター脇にあります。ご利用ください。

